



♡♡♡ 心を育てる（人権教育）参観日 ♡♡♡

1月24日の人権参観日には、平日にも関わらず、たくさんの保護者・地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

本校では、人権教育目標を「相手に対する思いやりの心を持ち、よく考えながら行動できることを育てる」とし、高知県が掲げる「県民に身近な11の人権課題（同和問題・女性・子ども・高齢者・障害者・HIV感染者等・外国人・犯罪被害者等・インターネットによる人権侵害・災害と人権・性的指向・性自認など）」について、発達段階に合わせて計画的に学び、積み上げていっています。その中から今回は、「インターネットによる人権侵害」について、情報モラルをテーマに各学級が授業を行いました。

【1年生】 ゲームやネットの「使いすぎ」について考えました。



【2年生】 ゲーム等を正しく使うための目標を考えました。



【3・4年生】

健康でいい生活を送るために目標を立てました。



【くすのき】



【5・6年生】

責任ある情報発信について考え、気を付けることを決めました。



【児童の感想（抜粋）】

- ・詐欺のことや SNS のことを知れて良かったです。
- ・SNS を使うにあたり、ルールの大切さが分かった。
- ・闇バイトはお金が高くても絶対やってはいけないことがわかりました。
- ・ちょっとスマホを見る時間が減りました。
- ・またこういう勉強をしたいです。
- ・逆に今度はいいことを教えてください。

人権学習を進めるにあたって大事にしているのは「自分事として考える」こと。どの学級でも、子どもたちが自分の経験や体験を基に素直に思いを語る様子が見られました（中には素直に語りすぎて、苦笑するお家の方も…）。

授業の後は、西部教育事務所の久米田 真吾 主任社会教育主事による講演会を行いました。「SNS との上手な付き合い方～君は大丈夫?～」と題し、インターネットの光と影について、たくさんのデータや事例を基に子ども達と対話しながらお話いただきました。インターネットや SNS は、正しく使うととても便利なものですが、使い方を誤るといじめや犯罪につながったり、自身の健康被害につながったりして、とても危険なものになってしまうため、各家庭でルールを決め、守っていくことが大切だということを再確認できたと思います。



子ども達がこれから生きていく社会は、「超スマート社会 (Society5.0)」と言われるデジタル社会 (情報社会) です。全ての人とモノがインターネットで繋がり、様々な知識や情報が共有され、今以上に ICT がなくてはならない存在になっていきます。そのような中、オーストラリアでは16歳未満の子どもは交流サイト (SNS) の利用を禁止する法律が施行されたり、アメリカでもインスタグラムが18歳未満を対象にアカウントを強制的に非公開にしたり、閲覧やメッセージの制限も厳格化する動きが見られます。一見、世の中の動きと逆行しているように思われますが、それだけ、使う者のモラルが問われているのだと思います。今回の授業や講演会での学びを生かしながら、上手に情報化社会を生き抜ける大人になってほしいと思います。そのためにも、ぜひ、各家庭でゲーム機や通信機器等の利用についてルールを話し合い、徹底をお願いします。

【保護者の感想】

- ・まだ2年生なのでスマホを持たせていませんが今後スマホを持たせる時には「スマホ18の約束」を見せてルールづくりをしたいと思います。ありがとうございました。
- ・子どもたちへのメリットを考える部分もあればよい。
- ・改めて怖さを感じました。
- ・学年が上がるごとにオンラインや SNS など、いろいろな悩みが増えそうです。親の目の届かないところでのことがこわいです。

～ 高知新聞「読もっか」掲載おめでとう！～

6 年：都築さん 1 月 27 日 文「まさかの出あい」

～お知らせ～

1 月 31 日 (金) にしまんとぴあで「ふるさと発見！四万十の子ども研究発表会」が行われます。本校からは 5・6 年生が総合的な学習の時間で取り組んだ「うなぎ」のことを発表します。開始時刻は 13:00 からです。八束小はプログラム 3 番目となります。ご都合がつくようでしたら、ぜひ、子どもたちの頑張りを見に来てあげてください。